



志岐高便り

第133号

発行責任者
山口 千樹



携帯サイトへ

長崎県立志岐高等学校 長崎県志岐市郷ノ浦町片原88
[TEL]0920-47-0081 [HP] <http://www2.news.ed.jp/section/iki-h/>

巻頭言

手を差し伸べられて

教頭 濱野 正義



先月、3年生のセンター試験100日前集会の際、進路主任の濱栗先生が、「合格が決まるであろう者たちは、悩んでいたり苦しんでいたりする人がいたら、その人に手を差し伸べてあげなさい。」と言われました。日本各地で起こった天災で被害を受けた人たちに手を差し伸べるため、多くの人たちがボランティアを志願している。素晴らしいことである。

たしかに、『手を差し伸べる』ことは、人間として大切なこと。しかし、私は手を差し伸べられたとき、いつもこう考える。きっと自分はひどく疲れた顔をしていたのだと。ずっと泣き出しそうな顔をしていたのだと。放っておきたくてもそれができないくらい、押し付けがましく弱っていたのだと。そして、次にかこう思う。

いつまでも、そんな顔をしているわけにはいかない、誰かの差し出す手に甘え続けてはいられないと。

甘えることを当然のようにしている大人たちを私は知っている。私はそういう人間が嫌いだ。彼らは、困ったことがあれば、「自分にはできません」「自分には無理です」と平気で言う。大人になれば、そして仕事をするようになれば、「自分にできることだけをすればよい」「自分がやりたいことだけをすればよい」なんて事は、ほとんどない。『やれと言われたことをする』のが仕事だ。

たがら私は、「できません。」と言われても、「いいよ、俺がやっておくから。」とは決して言わない。「やってもらわないといけないのです。」と答える。

(私がこう書けば、先生たちには、かなりのプレッシャーになるのでしょうか。。。)

一高校時代を生きる君たちに伝えたいこと一

- ・とにかく甘え上手な人間になって欲しくない。
- ・誰かがやってくれるという考えは持たないで欲しい。
- ・無理と思えることに果敢に挑戦して欲しい。
- ・やりたいことだけをやる人間になって欲しくない。
- ・やらずに判断するよりは、まずはやってみてほしい。
- ・つらい時こそ 前を向いて!

NEW FACE

10月より産休に入った中島先生の代替として、樋口舞先生が着任しました。1年生の情報の授業と、3年6組の現代社会の授業を担当します。どうぞよろしくお願いいたします。



第 3 学 年 よ り

東京では11月に54年ぶりの大雪を観測してニュースとなり、この香岐島にもいよいよ本格的に寒い冬がやってきました。69回生の11月を振り返ると、自学会、模擬試験と休みのない中で集中して取り組むことができました。また、公務員試験はピークを迎え、推薦入試では、学年の枠を越えて多くの先生方にご指導いただきました。結果の有無に関わらず、生徒たちは大きく成長できたと思います。この経験は必ず次のステップに繋がるものでしょう。

さて、センター試験まで50日を切りました。3学年にとって勝負の冬です。69回生一丸となって乗り切りましょう。保護者の皆様もこれからますます忙しくなり、気が休まらない日々が続くと思いますが、最後までお客様のサポートをよろしくお願いいたします。

第 2 学 年 よ り



今年度の校内駅伝大会において、2年4組が総合優勝、5組が第2位に輝き、7人の生徒が区間1位を獲得しました。

入賞の有無にかかわらず、各クラスがまとまりを一層強めることができている。雨模様の中、多くの保護者の方にご協力とご声援をいただき、実施することができました。心よりお礼申し上げます。

8日(火)には、駐日外交団が来校しました。文化部の多くと剣道部の生徒が積極的に日本文化を紹介し、異文化コミュニケーション

ンを楽しむことができました。かけがえのない思い出を作ることができた11月だったように思います。

さて、明日から師走となり、70回生学年団にも変革が必要です。次年度からのコースも確定し、生徒・保護者・教職員の三者が思いを一つにして、それぞれの立場で主体的に動き始める時です。変化を促すための絶好の機会として、「子どもの進路について考える会」「2学年PTA全体会」を12月13日(火)15:25~で企画いたしました。ぜひご参加いただきますようお願いいたします。

第 1 学 年 よ り

今年もこどもセンターに行ってきました！



保育学習の一環として、1年生は毎年この時期に香岐こどもセンターを訪問し、乳幼児と直接触れ合う体験をしています。生徒達は抱っ

こや遊びをするだけでなく、保護者の方々から子育ての喜びや大変さなどを丁寧に教えていただきました。昔と違って、親になるまでの過程で子育ての知識や技術を自然に身に付けることが難しくなっているため、この体験は高校生にとって、子どもや親への理解を深めるうえで大変貴重なものとなりました。さらに、今日まで自分を育ててくださった保護者の皆様に対し、改めて感謝の気持ちを持つことができました。



東アジア歴史・中国語 コース

11月20日(日)、立命館大学衣笠キャンパスにて、第11回立命館孔子学院中国語スピーチコンテストが開催され、本校より3年6組の佐藤悠喜君、2年6組の久田拓生君が出演しました。2人は、自らの国際交流の体験を中国語でまとめ、表現を加えながら堂々と発表しました。結果、佐藤君が学院長特別賞、久田君が審査員特別賞を受賞しました。後輩たちも、先輩方に続いてほしいと思います。



杵岐高Topics!

「駐日外交団との交流会」

11月8日（火）、杵岐市を訪問中の各国大使館職員の方々が本校を訪れ、生徒たちと交流しました。



英語部の司会進行のもと、放送部作成の杵岐紹介ビデオを視聴し、生徒会が杵岐高校について英語で説明し



ました。交流セッションでは調理部が杵岐の新米で作ったおにぎりと杵州豆腐の接待、茶道部は薄茶点前、郷土研究部

は史跡紹介、書道部は書道体験を行いました。

剣道部の形披露と吹奏楽部の演奏の後、外交団を代表してエチオピア大使にご挨拶を頂きましたが、生徒たちは国際交流の楽しさと、英語学習の重要性を改めて感じたようでした。



12月行事予定

①1年 ②2年 ③3年

1	木	期末考査①②③ 冬時間開始
2	金	期末考査①②③
3	土	
4	日	HSK②③
5	月	期末考査①②③
6	火	期末考査①②③
7	水	
8	木	LHR（人生の達人セミナー）
9	金	
10	土	★①②センター試験プレテスト(駿台)③ 中国語スピコン①②③（京都・福岡）
11	日	センター試験プレテスト(駿台)③
12	月	コース大学訪問①②福岡
13	火	コース大学訪問①②福岡 進路講演会②
14	水	
15	木	三者面談(短縮) 早朝補習終了
16	金	三者面談(短縮)
17	土	県下一斉テスト(3教科)①② ★③
18	日	長崎県アンサンブルコンテスト コース発表会
19	月	三者面談(短縮)
20	火	三者面談(短縮)
21	水	三者面談(短縮)
22	木	終業式 大掃除
23	金	【天皇誕生日】
24	土	
25	日	吹奏楽部クリスマスコンサート 文化部合同発表会
26	月	冬季補習①②③
27	火	冬季補習①②③
28	水	冬季補習①②③
29	木	年末休暇 センター試験プレテスト (北予備)③
30	金	年末休暇 センター試験プレテスト (北予備)③
31	土	

進路指導部より



11月15日
(火)、1・2年
生を対象に、「進
路ガイダンス」を
実施しました。

17の大学・専門
学校の先生方をお

招きし、それぞれの専門分野についての講義
をしていただきました。進学した後に学ぶ
「学問」に触れ、学んだことが社会でどのよ
うに役に立つのかを知り、生徒達も刺激を受
けたようです。

【受講した生徒の感想の一部】

・やはり英語は大切
だと思いました。
これから「Globalな
視点」を大切に、
英語をしっかりと学ん
だ上で他の国の言語
を学んでいくことが
重要だとわかりました。



・「福祉＝介護」ではなく、相手のことを思
いやることが福祉だとわかりました。皆で支
え合っていくための専門家を目指したいと思
います。

・保育所と幼稚園の違いを考えたこともあり

ませんでした。仕事の内容に差がないように
思えても、目的は違うだと知り驚きました。
「子どもたちと一緒に自分自身も育ってい
く」という言葉が印象に残りました。

生徒会・美化部より

○猶興館高校との交流会を行いました

11月14日(金)に、本校生徒会総務委員
と猶興館高校生徒会執行部との交流会を、イン
ターネットを活用した遠隔システムを利用
して行いました。両校の生徒会活動全般にか
かる意見交換を中心に行い、特に文化祭につ
いては実施内容等を中心に議論しました。

両校の生徒とも、他校の生徒会活動の状況
を知ることができ、多くの刺激を受けまし
た。他の高校とも交流の輪を広げていければ
と考えています。

○高総文祭開会式に参加しました

11月11日(金)に佐世保市で開催された
高総文祭開会式に、本校生徒会総務委員会
の坂口絵理華(2-1)、中村咲希(1-
2)、豊増夢羽(1-4)の3名が参加しま
した。今年の総文祭開会式は「道」をテー
マに、県北地区の高校生が中心となって開催
されました。開会式に参加した生徒たちはと
ても刺激を受け、この開会式の内容や運営状況
などを、来年の本校の文化祭に活かしてい
きたいと感想を述べていました。

中国語講師 王佳先生コラム「多彩中国 (中国いろいろ)」

～ 喫茶篇 ～



中国はお茶を最も早く発見し、利用した国で、お茶
の故郷とも言われています。お茶を飲むことは中国人
の生活習慣の一種になっています。中国で生産したお
茶は緑茶、紅茶、青茶、白茶、黄茶、黒茶に分けら
れ、有名なお茶は龍井、鉄観音、プーアル茶などです。



お茶は石器時代の炎帝の神農氏が発見し、最初は薬用でした。中国
の晋代、南北朝(220~589)に茶文化が萌芽し、唐代(618~907)になって「茶経」
が著され、茶文化形成のシンボルとなりました。飲茶の中に当時の中国の儒教、道教、仏教
を取り入れ、中国茶道精神が創造されたのです。茶道という言葉は中国で千年以上使われて
おり、「精、行、俟、徳」という四字は中国茶道の本質として今日まで残ってきました。

現代の中国茶道は「工夫茶」とも言い、「茶葉」、「お湯」、「火加減」、「茶器」、
「環境」という五要素はその中に欠かせないものです。